



塩原城跡

指定名称 すはらじょうあと 塩原城跡（町指定史跡）
所在地 久米島町字銭田スハラ原1230
指定年月日 昭和47年9月2日（旧仲里村指定）
所有者 久米島町

字銭田のすぐ南の塩原ムイ（標高130m）の頂上に2重の石垣がある。これがすはら塩原城跡で、安山岩を野面積みにしており、石垣の幅は約2m、高さは約1.5mで、石垣囲いは東西にやや長く、楕円形に積まれている。城門からの奥行きは約50m、石垣に囲われた面積は約1,800坪である。

塩原城については、文献の記録が残っていないが、唯一「塩原按司の取らぬサンミン（計算）」ということわざがある。ある時、塩原の按司が家

来を連れて、海岸に出てみ

たら、大きなザン魚（じゅごん）が海岸の砂の上で寝ていたのを見て、按司は大いに喜び、この頭は誰に、胴体はどこに上げようと送り先を家来たちに命令し得意になっている最中、目を覚ましたザン魚は海に飛び込んでしまったという話。「とらぬ狸の皮算用」ということわざの久米島版である。

